

9Capital

活動概要資料（公開用）

2025月4月12日

- 9Capital（ナインキャピタル）
 - 2024年8月 9 Capital合同会社（本店：北九州市）
 - 2024年11月 1号ファンド組成
 - 2025年1月 アクセラレーションプログラム（9Cアクセラ）始動

• 代表プロフィール



竹山 将志

ソフトバンクグループに新卒入社。エンジニアマネージャーとしてソフトバンクグループ内外の大規模システム開発に従事。その後、事業開発マネージャーとして新規事業立上げを行う。

政府系ファンドのINCJ（旧産業革新機構）でIT/IoT/ディープテックを中心にベンチャー投資の経験を積み、上場株運用会社であるレオスグループに移り、ベンチャーキャピタルを新規で立上げ。主にシード期スタートアップのインキュベーションや投資を行う。

北九州市企業誘致アドバイザー
情報経営イノベーション専門職大学客員教授

ものづくり既存産業と新産業の融合

As Is



- 深センにハードウェア製造サプライチェーンが集積してハードウェアのシリコンバレー化している
- 世界のハードウェアスタートアップは試作品製造を深センに依頼するが、米中の関係悪化から世界のスタートアップは試作品製造に課題がある

To Be



- 当ファンドが北九州ものづくり既存産業とディープテックスタートアップが創る新産業との結節点となり、北九州を新たなディープテックスタートアップの集積地へ
- 当ファンドでファイナンスやアクセラレーションの機能を提供することで製造面以外の成長を支援
- グローバルスタートアップ創出に繋げる

次世代のグローバル企業を育てるスタートアップ道場



- 新たなスタートアップの集積地を作り、次世代のグローバル企業を育成するためのコミュニティづくりを行う
- 当ファンドは北九州に集積するスタートアップ向けのハンズオン支援、若手起業家や起業家候補へのアクセラレーションプログラムを実施
- 自治体、地域の豪族企業、大学、スタートアップ（九州・瀬戸内エリアのスタートアップまたは親和性ある全国のスタートアップ）と取り組みを開始。中長期的には大企業やグローバルのスタートアップに参画いただき、大きなコミュニティ形成を企図

9Cアクセラ2025 中間地点での実績

■ コンテスト実績

JSSA AWRD
最優秀賞



RED Kyushu
ファイナリスト



NBC
ファイナリスト



グローバルプログラム
採択&Top10%評価



■ プロダクト実績



プロダクトリリースして、PR TIMESの3カテゴリで旬速1位、
日経新聞・アスキー・Yahoo!ニュースにも掲載

九州＋瀬戸内エリアの連携構想

- ものづくりが盛んな九州と瀬戸内エリアでのそれぞれの強みを生かした連携構想
- 北九州の深セン化構想を皮切りにレガシー産業×スタートアップの軸で地域コミュニティを強化
- 1つの地域に閉じずにエリアで連携することで珠江デルタのような経済圏を構成する

